

参議院選挙区
一票の格差是正に関するレポート

新堀 英臣

『参議院選挙区、一票の格差是正に関するレポート』

参議院選挙における一票の格差の問題は、長年、日本の政治不信の元凶の一つとなっていました。そこで、このレポートでは、参議院の定数や選挙方法については吟味せず、参議院選挙区の定数を増減させる事によって、一票の格差を縮小させる三つの案を、提示させて頂きました。

現在、開催中の委員会において、審議の一助になれば、幸いです。

以下、まず、三案の概要を書いておきます。

〈A+2案〉

十増十減（十都道府県）

二議席増 北海道・東京・神奈川・大阪・兵庫
二議席減 宮城・福島・新潟・長野・岐阜
倍率 4. 14倍

〈A+1案〉

十二増十二減（十五都道府県）

二議席増 北海道・東京・神奈川・大阪・兵庫
一議席増 愛知・福岡
二議席減 宮城・福島・長野・岐阜
一議席減 茨城・新潟・京都・広島
倍率 3. 87倍

奇数選挙区（六選挙区）

茨城（1&2）、新潟（2&1）
愛知（3&4）、京都（2&1）
広島（1&2）、福岡（3&2）

〈B+1案〉

十一増十一減（十六都道府県）

二議席増 東京・神奈川・大阪
一議席増 北海道・埼玉・愛知・兵庫・福岡
二議席減 福島・長野・岐阜
一議席減 宮城・茨城・新潟・京都・広島
倍率 3. 77倍

奇数選挙区（十選挙区）

北海道（2&3）、宮城（2&1）
茨城（1&2）、埼玉（4&3）
新潟（1&2）、愛知（4&3）
京都（1&2）、兵庫（3&2）
広島（1&2）、福岡（3&2）

1. 議席配分の計算方法（A案）

（参照 『表1 議席配分基本表（A案）』）

まず、各都道府県の選挙人名簿登録者数を合計する。そして、その数を参議院選挙区の定数146で割る。すると、一議席に対する選挙人名簿登録者数を導き出す事が出来る。この数字は、今回、『710, 122』であるが、つまり、710, 122人ごとに一議席を割り振っていけば、一票の格差無く、議席配分が出来るという事である。

次に、各都道府県の選挙人名簿登録者数を、この『710, 122』で、割る。すると、各都道府県の議席配分比率を求める事ができる。この数字は、この小数点以下も含めた数の議席を、各都道府県に割り振っていけば、格差無く、議席を配分できるという数字である。

しかし、参議院選挙は、半数改選で、各選挙区に地域代表としての性格がある為、最低でも、二議席は、各都道府県に割り振らなければならない。そこで、さきほどの数字（議席分配比率）で、『2未満』の都道府県に対しては、最低議席配分として、二議席ずつ分配する。

だが、そうすると、二議席に満たない都道府県に二議席を分配するのだから、当然、議席が足りなくなってくる。そこで、今までやってきた計算を、今度は、二議席分配された都道府県を除いて、再計算する。こうする事で、残り議席を出来るだけ公平に分配する事が出来るのである。

繰り返しになるが、まず、名簿登録者数を合計して、残り議席で割り、出た数字で、各都道府県の登録者数を割る。すると、議席配分比率が、新たな数字になる。そうしたら、その数字を、『3. 00なら4議席、2. 99なら2議席』というように、奇数単位で四捨五入していくけば、各都道府県に配分すべき議席数を導き出す事が出来る。

ここまで計算で、すべての議席がきっちり分配できれば良いのだが、数字を四捨五入するなど、いじっている為、定数通りに分配できる事は、まず無い。今回もまた、配分した議席数の合計は、140にしかならない。

そこで、残り6議席については、一議席あたりの選挙人名簿登録者数の多い都道府県に、上位から、割り振っていきたいと思う。

（※注 仮に、この時点で、配分した議席が定数を越えてしまった場合は、逆に、定数2以上の都道府県で、登録者数の少ない都道府県から議席を引いていくか、議席を配分していく時、奇数単位で四捨五入ではなく、偶数になるよう切り捨てる）

2. 残り議席の配分方法（A案）

（参照 『表2 一議席あたりの選挙人名簿登録者数、上位都道府県（A案）』）

残り議席は、一議席あたりの選挙人名簿登録者数の多い都道府県に、割り振っていくのだが、残り議席の分配の仕方で、A案は、二つに分かれる。

『A+2案』では、上位から二議席ずつ分配し、『A+1案』では、一議席ずつ分配していくのである。

その結果、表2にあるように、A+2案では、最大格差は、福岡と鳥取間の4.14倍、A+1案では、埼玉と鳥取間の3.87倍になる。

3. 奇数定数選挙区の是非

この『A+1案』のように、議席を一議席ずつ割り振った場合、選挙区定数が奇数の選挙区が発生する。

過去、鳥取など、議員配分比率が二未満の都道府県に対して、議席を『一議席』だけ割り振るという案が出されたが、参議院選挙の選挙区には、都道府県の代表を選ぶという意味があり、半数改選で二回ある選挙のうち、一回の選挙時には選挙が行えない『一議席』という定数は、認められなかった。

だが、一以外の奇数、『三議席・五議席・七議席』などについては、半分にしても、一議席以上あり、選挙が行えないという事は無い。

また、参議院は半数改選であるが、その半数というのは、参議院の半数であり、各選挙区まで半数でなければならないという事はないだろう。改選時によって、選挙区定数が変わっても、参議院にいるその選挙区選出の参議院議員の総数は変化しないし、全体として考えれば、半分の議員が入れ代わっている。唯一、問題となるのは、選挙区において厳密に半数が改選されないという点だが、それが特に問題になるとは思えないし、それが、選挙区間の一票の格差より重要な問題になるとも思えない。

奇数選挙区を導入した場合、改選時、きっちり半数改選できないのではないかと心配する人もいるかもし

れないが、奇数選挙区同士をペアにして考えて、『一回目が定数2で二回目が定数1の選挙区と、一回目が定数1で二回目が定数2の選挙区』というように、互い違いの定数にすれば、一回の選挙で選出されるのは、二つの選挙区合わせて三議席であり、きっちり半数ずつ改選できる。

4. B案

(参照 『表3 議席配分基本表（B案）』)

『A+1案』で用いた奇数定数を、最大限利用したのが、B案である。

A案との違いは、二回目の議席配分比率を求めた後、A案では、奇数単位で四捨五入して、議席数を決定していたのを、B案では、2以上の数字の場合、小数点未満切り捨てで計算している点のみである。こうする事によって、より多くの残り議席を発生させる事が出来る。

それを、A+1案同様、一議席あたりの選挙人名簿登録者数の多い都道府県に、割り振っていくと、一票の格差は、北海道と鳥取間の3.77倍になる。

(参照 『表4 一議席あたりの選挙人名簿登録者数、上位都道府県（B案）』)

5. 選挙区定数増減以外の一票の格差是正方法

以上をもって、選挙区定数を増減させることによって、一票の格差を是正する三つの案の提示は、終わりなのだが、参考として、定数増減以外で、一票の格差を是正する方法を羅列しておきたい。

- ・人口を増減させる（鳥取県の人口を増やす、福岡などの人口を減らす）
- ・都道府県を合併させる（鳥取と島根を合併、四国四県を合併）
- ・選挙区を合併させる（※注 裁判所より、否定的な見解あり）
- ・参議院の定数を増やす
- ・選挙制度を変える（選挙区に割り振られている定数を増やす、選挙区を全廃し、全比例にする等）

6. 最後に

今回、レポートの中で提示した『A+2案』は、前回、4増4減を決めた委員会で出されていた、14増14減案と、ほぼ同じ内容である。この14増14減案が採用されなかった理由について、報告書には、以下のように書かれている。

較差の解消をより大きく図ろうとすれば、対象となる選挙区が多くなり、その影響度が増大する。

また、過去の定数増減との整合性をどう捉えるかの新たな問題も生じ、具体的にどの案を採用すべきかは、選挙区選挙の沿革、在り方も含めた十分な議論が必要となってくる。

(引用 参議院改革協議会専門委員会（選挙制度）報告書)

だが、選挙区の定員を増減したからといって、有権者や社会全体には、何の影響も無い。影響があるのは、その選挙区から立候補しようとしている人物、そして、その選挙区の現職の国会議員ぐらいのものである。

また、第一に考えるべきは、格差の是正——公正な選挙——であって、過去の定数増減との整合性など、無くとも構わないし、過去の経緯など、どうでもいい事である。

新たに選ばれた委員の方々が、過去の保身を繰り返す事無く、国民の範になるような、政治家の本分を見てくれる事を、願っています。

【表1 議席配分基本表（A案）】

| | 選挙人名簿登録者数 | 議配比1 | 最低配 | 名簿登録者数 | 議配比2 | 仮配分 | 一議席あたり登録者 |
|-----|--------------------|-------|-----|------------|-------|-------|-----------|
| 北海道 | 4,646,114(19.3.2) | 6.54 | — | 4,646,114 | 5.61 | 6 | 774,352 |
| 青森 | 1,186,583(18.12.2) | 1.67 | 2 | — | — | 2 | 593,292 |
| 岩手 | 1,126,880(19.3.2) | 1.59 | 2 | — | — | 2 | 563,440 |
| 宮城 | 1,906,064(19.3.2) | 2.68 | — | 1,906,064 | 2.30 | 2 | 953,032 |
| 秋田 | 954,562(18.12.2) | 1.34 | 2 | — | — | 2 | 477,281 |
| 山形 | 982,923(19.3.2) | 1.38 | 2 | — | — | 2 | 491,462 |
| 福島 | 1,676,608(19.3.2) | 2.36 | — | 1,676,608 | 2.03 | 2 | 838,304 |
| 茨城 | 2,417,147(18.12.2) | 3.40 | — | 2,417,147 | 2.92 | 2 | 1,208,574 |
| 栃木 | 1,625,998(19.3.2) | 2.29 | — | 1,625,998 | 1.96 | 2 | 812,999 |
| 群馬 | 1,632,807(19.3.2) | 2.30 | — | 1,632,807 | 1.97 | 2 | 816,404 |
| 埼玉 | 5,720,239(18.12.2) | 8.06 | — | 5,720,239 | 6.91 | 6 | 953,373 |
| 千葉 | 4,957,428(19.3.2) | 6.98 | — | 4,957,428 | 5.99 | 6 | 826,238 |
| 東京 | 10,409,199(19.3.2) | 14.66 | — | 10,409,199 | 12.58 | 12 | 867,433 |
| 神奈川 | 7,161,652(19.3.2) | 10.09 | — | 7,161,652 | 8.65 | 8 | 895,207 |
| 新潟 | 1,984,819(19.3.2) | 2.80 | — | 1,984,819 | 2.40 | 2 | 992,410 |
| 富山 | 912,926(19.3.2) | 1.29 | 2 | — | — | 2 | 456,463 |
| 石川 | 948,633(19.3.2) | 1.34 | 2 | — | — | 2 | 474,317 |
| 福井 | 658,010(19.3.2) | 0.93 | 2 | — | — | 2 | 329,005 |
| 山梨 | 707,817(19.1.3) | 1.00 | 2 | — | — | 2 | 353,909 |
| 長野 | 1,772,281(19.3.2) | 2.50 | — | 1,772,281 | 2.14 | 2 | 886,141 |
| 岐阜 | 1,695,715(19.3.2) | 2.39 | — | 1,695,715 | 2.05 | 2 | 847,858 |
| 静岡 | 3,067,496(19.3.2) | 4.32 | — | 3,067,496 | 3.71 | 4 | 766,874 |
| 愛知 | 5,733,660(19.3.2) | 8.07 | — | 5,733,660 | 6.93 | 6 | 955,610 |
| 三重 | 1,504,272(19.3.2) | 2.12 | — | 1,504,272 | 1.82 | 2 | 752,136 |
| 滋賀 | 1,084,942(18.12.2) | 1.53 | 2 | — | — | 2 | 542,471 |
| 京都 | 2,106,616(18.12.2) | 2.97 | — | 2,106,616 | 2.55 | 2 | 1,053,308 |
| 大阪 | 7,073,787(19.3.2) | 9.96 | — | 7,073,787 | 8.55 | 8 | 884,223 |
| 兵庫 | 4,525,960(19.3.2) | 6.37 | — | 4,525,960 | 5.47 | 6 | 754,327 |
| 奈良 | 1,159,688(19.3.2) | 1.63 | 2 | — | — | 2 | 579,844 |
| 和歌山 | 862,122(19.3.2) | 1.21 | 2 | — | — | 2 | 431,061 |
| 鳥取 | 493,138(19.3.2) | 0.69 | 2 | — | — | 2 | 246,569 |
| 島根 | 602,998(19.3.2) | 0.85 | 2 | — | — | 2 | 301,499 |
| 岡山 | 1,581,807(18.12.2) | 2.23 | — | 1,581,807 | 1.91 | 2 | 790,904 |
| 広島 | 2,328,638(18.12.2) | 3.28 | — | 2,328,638 | 2.81 | 2 | 1,164,319 |
| 山口 | 1,228,665(19.3.2) | 1.73 | 2 | — | — | 2 | 614,333 |
| 徳島 | 668,367(19.3.2) | 0.94 | 2 | — | — | 2 | 334,184 |
| 香川 | 835,823(19.3.2) | 1.18 | 2 | — | — | 2 | 417,912 |
| 愛媛 | 1,203,708(19.1.21) | 1.70 | 2 | — | — | 2 | 601,854 |
| 高知 | 656,042(19.3.2) | 0.92 | 2 | — | — | 2 | 328,021 |
| 福岡 | 4,082,347(18.12.2) | 5.75 | — | 4,082,347 | 4.93 | 4 | 1,020,587 |
| 佐賀 | 693,215(18.12.2) | 0.98 | 2 | — | — | 2 | 346,608 |
| 長崎 | 1,197,623(19.3.2) | 1.69 | 2 | — | — | 2 | 598,812 |
| 熊本 | 1,498,905(18.12.2) | 2.11 | — | 1,498,905 | 1.81 | 2 | 749,453 |
| 大分 | 997,182(18.12.2) | 1.40 | 2 | — | — | 2 | 498,591 |
| 宮崎 | 942,324(19.1.3) | 1.33 | 2 | — | — | 2 | 471,162 |
| 鹿児島 | 1,416,118(19.3.2) | 1.99 | 2 | — | — | 2 | 708,059 |
| 沖縄 | 1,048,008(18.12.2) | 1.48 | 2 | — | — | 2 | 524,004 |
| 合計 | 103,677,856 | | 4 8 | 81,109,559 | | 1 4 0 | |

※注 表記数未満、四捨五入

【表1に関する備考】

- ・都道府県名の順番は、『総務省自治行政局選挙部管理課『衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査結果調』』の表記を準拠。
- ・選挙人名簿登録者数は、2007年3月15日時点で、各都道府県選挙管理委員会が、インターネット上のサイトで公表している、最新の数値。
- ・議配比1・・・議席配分比率一回目
- ・最低配・・・最低議席配分
- ・名簿登録者数・・・選挙人名簿登録者数
- ・議配比2・・・議席配分比率二回目
- ・仮配分・・・仮議席配分
- ・一議席あたり登録者・・・一議席あたりの選挙人名簿登録者数

議席配分比率計算式（一回目）

$$\text{選挙人名簿登録者数} \div \text{参議院選挙区定数} = \text{一議席に対する選挙人名簿登録者数}$$
$$103,677,856 \quad \div \quad 146 \quad = \quad 710,122$$

$$\text{各都道府県の選挙人名簿登録者数} \div \text{一議席に対する選挙人名簿登録者数} = \text{各都道府県における議席の配分比率}$$
$$X \quad \div \quad 710,122 \quad = \quad Y$$

議席配分比率計算式（二回目）

（※注 以下の式では、最低議席配分を受けた都道府県分は除いて、計算する）

$$\text{選挙人名簿登録者数} \div \text{最低配分を除いた残り議席数} = \text{残り議席一議席に対する名簿登録者数}$$
$$81,109,559 \quad \div \quad 98(146-48) \quad = \quad 827,649$$

$$\text{残り各都道府県の名簿登録者数} \div \text{残り議席一議席に対する名簿登録者数} = \text{残り各都道府県の議席配分比率}$$
$$X \quad \div \quad 827,649 \quad = \quad Y$$

【表2 一議席あたりの選挙人名簿登録者数、上位都道府県（A案）】

| | | 二議席ずつ | 一議席ずつ |
|----|-----------|--------------|--------------|
| 茨城 | 1,208,574 | (+2) 604,287 | (+1) 805,716 |
| 広島 | 1,164,319 | (+2) 582,160 | (+1) 776,213 |
| 京都 | 1,053,308 | (+2) 526,654 | (+1) 702,205 |
| 福岡 | 1,020,587 | | (+1) 816,469 |
| 新潟 | 992,410 | | (+1) 661,606 |
| 愛知 | 955,610 | | (+1) 819,094 |
| 埼玉 | 953,373 | | |
| 宮城 | 953,032 | | |

〈A+2案〉

残り議席を二議席ずつ分配した場合の、一票の格差

福岡 1,020,587

鳥取 246,569

(倍率 4.14倍)

〈A+1案〉

残り議席を一議席ずつ分配した場合の、一票の格差

埼玉 953,373

鳥取 246,569

(倍率 3.87倍)

【表3 議席配分基本表（B案）】

| | 選挙人名簿登録者数 | 議配比1 | 最低配 | 名簿登録者数 | 議配比2 | 仮配分 | 一議席あたり登録者 |
|-----|--------------------|-------|-----|------------|-------|-------|-----------|
| 北海道 | 4,646,114(19.3.2) | 6.54 | — | 4,646,114 | 5.61 | 5 | 929,223 |
| 青森 | 1,186,583(18.12.2) | 1.67 | 2 | — | — | 2 | 593,292 |
| 岩手 | 1,126,880(19.3.2) | 1.59 | 2 | — | — | 2 | 563,440 |
| 宮城 | 1,906,064(19.3.2) | 2.68 | — | 1,906,064 | 2.30 | 2 | 953,032 |
| 秋田 | 954,562(18.12.2) | 1.34 | 2 | — | — | 2 | 477,281 |
| 山形 | 982,923(19.3.2) | 1.38 | 2 | — | — | 2 | 491,462 |
| 福島 | 1,676,608(19.3.2) | 2.36 | — | 1,676,608 | 2.03 | 2 | 838,304 |
| 茨城 | 2,417,147(18.12.2) | 3.40 | — | 2,417,147 | 2.92 | 2 | 1,208,574 |
| 栃木 | 1,625,998(19.3.2) | 2.29 | — | 1,625,998 | 1.96 | 2 | 812,999 |
| 群馬 | 1,632,807(19.3.2) | 2.30 | — | 1,632,807 | 1.97 | 2 | 816,404 |
| 埼玉 | 5,720,239(18.12.2) | 8.06 | — | 5,720,239 | 6.91 | 6 | 953,373 |
| 千葉 | 4,957,428(19.3.2) | 6.98 | — | 4,957,428 | 5.99 | 5 | 991,486 |
| 東京 | 10,409,199(19.3.2) | 14.66 | — | 10,409,199 | 12.58 | 12 | 867,433 |
| 神奈川 | 7,161,652(19.3.2) | 10.09 | — | 7,161,652 | 8.65 | 8 | 895,207 |
| 新潟 | 1,984,819(19.3.2) | 2.80 | — | 1,984,819 | 2.40 | 2 | 992,410 |
| 富山 | 912,926(19.3.2) | 1.29 | 2 | — | — | 2 | 456,463 |
| 石川 | 948,633(19.3.2) | 1.34 | 2 | — | — | 2 | 474,317 |
| 福井 | 658,010(19.3.2) | 0.93 | 2 | — | — | 2 | 329,005 |
| 山梨 | 707,817(19.1.3) | 1.00 | 2 | — | — | 2 | 353,909 |
| 長野 | 1,772,281(19.3.2) | 2.50 | — | 1,772,281 | 2.14 | 2 | 886,141 |
| 岐阜 | 1,695,715(19.3.2) | 2.39 | — | 1,695,715 | 2.05 | 2 | 847,858 |
| 静岡 | 3,067,496(19.3.2) | 4.32 | — | 3,067,496 | 3.71 | 3 | 1,022,499 |
| 愛知 | 5,733,660(19.3.2) | 8.07 | — | 5,733,660 | 6.93 | 6 | 955,610 |
| 三重 | 1,504,272(19.3.2) | 2.12 | — | 1,504,272 | 1.82 | 2 | 752,136 |
| 滋賀 | 1,084,942(18.12.2) | 1.53 | 2 | — | — | 2 | 542,471 |
| 京都 | 2,106,616(18.12.2) | 2.97 | — | 2,106,616 | 2.55 | 2 | 1,053,308 |
| 大阪 | 7,073,787(19.3.2) | 9.96 | — | 7,073,787 | 8.55 | 8 | 884,223 |
| 兵庫 | 4,525,960(19.3.2) | 6.37 | — | 4,525,960 | 5.47 | 5 | 905,192 |
| 奈良 | 1,159,688(19.3.2) | 1.63 | 2 | — | — | 2 | 579,844 |
| 和歌山 | 862,122(19.3.2) | 1.21 | 2 | — | — | 2 | 431,061 |
| 鳥取 | 493,138(19.3.2) | 0.69 | 2 | — | — | 2 | 246,569 |
| 島根 | 602,998(19.3.2) | 0.85 | 2 | — | — | 2 | 301,499 |
| 岡山 | 1,581,807(18.12.2) | 2.23 | — | 1,581,807 | 1.91 | 2 | 790,904 |
| 広島 | 2,328,638(18.12.2) | 3.28 | — | 2,328,638 | 2.81 | 2 | 1,164,319 |
| 山口 | 1,228,665(19.3.2) | 1.73 | 2 | — | — | 2 | 614,333 |
| 徳島 | 668,367(19.3.2) | 0.94 | 2 | — | — | 2 | 334,184 |
| 香川 | 835,823(19.3.2) | 1.18 | 2 | — | — | 2 | 417,912 |
| 愛媛 | 1,203,708(19.1.21) | 1.70 | 2 | — | — | 2 | 601,854 |
| 高知 | 656,042(19.3.2) | 0.92 | 2 | — | — | 2 | 328,021 |
| 福岡 | 4,082,347(18.12.2) | 5.75 | — | 4,082,347 | 4.93 | 4 | 1,020,587 |
| 佐賀 | 693,215(18.12.2) | 0.98 | 2 | — | — | 2 | 346,608 |
| 長崎 | 1,197,623(19.3.2) | 1.69 | 2 | — | — | 2 | 598,812 |
| 熊本 | 1,498,905(18.12.2) | 2.11 | — | 1,498,905 | 1.81 | 2 | 749,453 |
| 大分 | 997,182(18.12.2) | 1.40 | 2 | — | — | 2 | 498,591 |
| 宮崎 | 942,324(19.1.3) | 1.33 | 2 | — | — | 2 | 471,162 |
| 鹿児島 | 1,416,118(19.3.2) | 1.99 | 2 | — | — | 2 | 708,059 |
| 沖縄 | 1,048,008(18.12.2) | 1.48 | 2 | — | — | 2 | 524,004 |
| 合計 | 103,677,856 | | 4 8 | 81,109,559 | | 1 3 6 | |

※注 表記数未満、四捨五入。以下、備考は、表1の備考と同じ。なお、A案との違いは、議配比2から仮配分する際、A案では奇数単位で四捨五入していたのを、2以上、小数点以下切り捨てにしている点である。

【表4 一議席あたりの選挙人名簿登録者数、上位都道府県（B案）】

| | | 一議席ずつ |
|-----|-----------|-------------|
| 茨城 | 1,208,574 | 805,716 (3) |
| 広島 | 1,164,319 | 776,213 (3) |
| 京都 | 1,053,308 | 702,205 (3) |
| 静岡 | 1,022,499 | 766,874 (4) |
| 福岡 | 1,020,587 | 816,469 (5) |
| 新潟 | 992,410 | 661,606 (3) |
| 千葉 | 991,486 | 826,238 (6) |
| 愛知 | 955,610 | 819,094 (7) |
| 埼玉 | 953,373 | 817,177 (7) |
| 宮城 | 953,032 | 635,355 (3) |
| 北海道 | 929,223 | |
| 兵庫 | 905,192 | |

〈B+1案〉

残り議席を一議席ずつ分配した場合の、一票の格差

北海道 929,223

鳥取 246,569

(倍率 3.77倍)

【表5 参議院選挙区、定数一覧表】

| | 現行 | A + 2 | A + 1 | B + 1 |
|-----|----|-------|-------|-------|
| 北海道 | 4 | 6 | 6 | 5 |
| 青森 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 岩手 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 宮城 | 4 | 2 | 2 | 3 |
| 秋田 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 山形 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 福島 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 茨城 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 栃木 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 群馬 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 埼玉 | 6 | 6 | 6 | 7 |
| 千葉 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 東京 | 10 | 12 | 12 | 12 |
| 神奈川 | 6 | 8 | 8 | 8 |
| 新潟 | 4 | 2 | 3 | 3 |
| 富山 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 石川 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 福井 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 山梨 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 長野 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 岐阜 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 静岡 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 愛知 | 6 | 6 | 7 | 7 |
| 三重 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 滋賀 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 京都 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 大阪 | 6 | 8 | 8 | 8 |
| 兵庫 | 4 | 6 | 6 | 5 |
| 奈良 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 和歌山 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 鳥取 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 島根 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 岡山 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 広島 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 山口 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 徳島 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 香川 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 愛媛 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 高知 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 福岡 | 4 | 4 | 5 | 5 |
| 佐賀 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 長崎 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 熊本 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 大分 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 宮崎 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 鹿児島 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 沖縄 | 2 | 2 | 2 | 2 |

〈A + 2案〉

十増十減（十都道府県）

- 二議席増 北海道・東京・神奈川・大阪・兵庫
- 二議席減 宮城・福島・新潟・長野・岐阜
- 倍率 4.14倍

〈A + 1案〉

十二増十二減（十五都道府県）

- 二議席増 北海道・東京・神奈川・大阪・兵庫
- 一議席増 愛知・福岡
- 二議席減 宮城・福島・長野・岐阜
- 一議席減 茨城・新潟・京都・広島
- 倍率 3.87倍

奇数選挙区（六選挙区）

- 茨城（1&2）、新潟（2&1）
- 愛知（3&4）、京都（2&1）
- 広島（1&2）、福岡（3&2）

〈B + 1案〉

十一増十一減（十六都道府県）

- 二議席増 東京・神奈川・大阪
- 一議席増 北海道・埼玉・愛知・兵庫・福岡
- 二議席減 福島・長野・岐阜
- 一議席減 宮城・茨城・新潟・京都・広島
- 倍率 3.77倍

奇数選挙区（十選挙区）

- 北海道（2&3）、宮城（2&1）
- 茨城（1&2）、埼玉（4&3）
- 新潟（1&2）、愛知（4&3）
- 京都（1&2）、兵庫（3&2）
- 広島（1&2）、福岡（3&2）

【表5の備考】

- ・『A + 2案』とは、A案の残り議席二議席配分案の事。
- ・『A + 1案』とは、A案の残り議席一議席配分案の事。
- ・『B + 1案』とは、B案の事。
- ・『A + 1案』『B + 1案』の場合、選挙区定数が奇数の選挙区が発生する。その場合、表記順番上位から、奇数選挙区をペアにして考えて、お互いの定数を互い違いになるようにして、二回に分かれる選挙の定数を決定すれば良い。